

QUESTION 9-1

児童期までの認知発達（第7,8章）を基盤に、自分の身体や社会的地位の変化を体験する中で、青年期には心の世界が大きく変わる。では、人間関係や自分に対する見方（認知）にはどんな変化が見られるだろうか。

QUESTION 9-2

あなたにとって“友だち”とはどのような存在だろうか。どのようにして出会い、どのような人が特にあなたにとっての“友だち”となっているだろうか。子どもの頃はどうかだっただろうか。考えてみよう。

QUESTION 9-4

「私自身、思春期の頃は、いまになってなぜあんなことを親に言ったりしたりしたのだろうと恥ずかしくなるくらい反抗した。そして私の2人の子どもも同じように反抗期を経てきた。ああ言えばこう言い、あらゆることに反抗する子どもに、理性は吹き飛び、感情でぶつかりあい、うちの親子関係はおかしいのではないかと思ったりした」。

これは現在2人の子どもをもつ母親となった女性の言葉である。あなたの場合はどうだっただろうか。また、このような対立を経験するか否かによって、発達的にはどのような違いが現れると考えられるだろうか。

--

QUESTION 9-3

友人関係と恋愛関係との間には、どのような違いがあるだろうか。

--

--	--